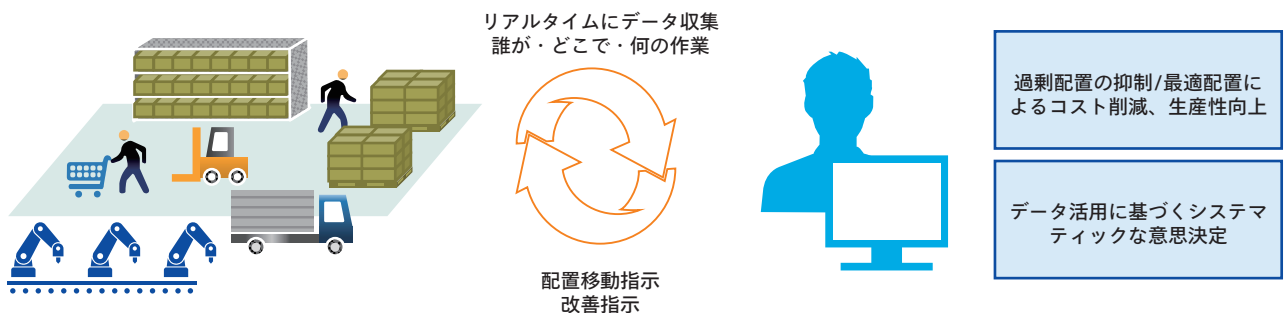


# 倉庫管理高度化ソリューション

倉庫作業・人員の見える化と経験・勘に頼らない運営を実現

倉庫管理高度化ソリューション (Workforce Management) は、作業者の情報をデータ化し、物量情報等と統合することにより、倉庫管理に伴う様々な意思決定をリアルタイムかつシステムティックに行うための管理者ツールです。倉庫管理者の稼働やコストを削減するだけでなく、経験や勘等に頼ることなく、安定性と生産性の高い倉庫管理を実現します。



## Workforce Management (WFM) のコンセプト

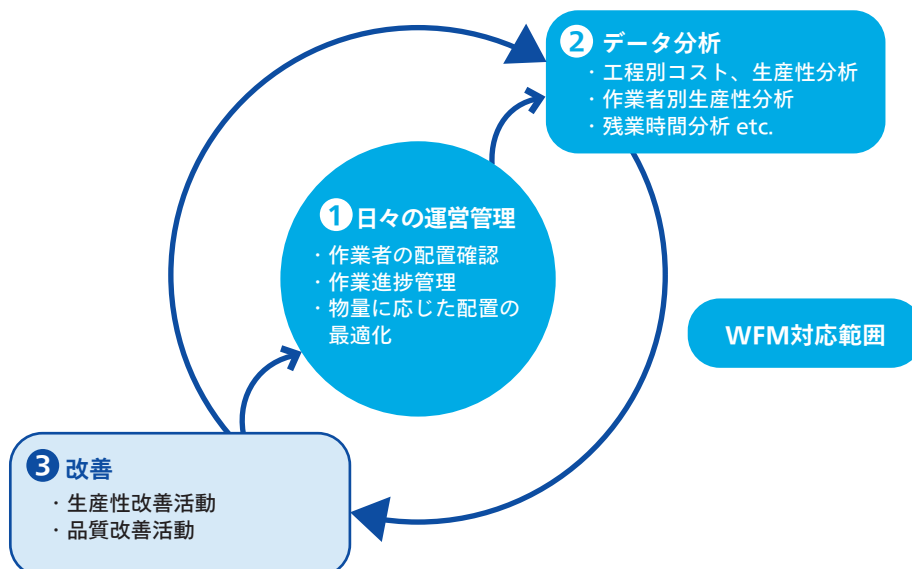
店舗からECへのチャネルシフトによる単位当たりの作業負荷の増加、労働人口の減少及び作業者の賃金上昇により、倉庫作業の労働力確保は難しさを増しています。ロボットや自動倉庫等の導入は省人化の一つの解決策ですが、投資可能な企業は限定的である上、全ての倉庫業務を移管できるわけではないため、多くの倉庫は人を中心とした労働集約型の運営方法を続けていかざるをえません。

また、倉庫の生産性は管理者のスキルに大きく影響されますが、多くの倉庫は経験と勘に頼った属人的な運営に依存しており、不慣れた管理者は運営コストを増加させています。さらに、経験ある管理者の高齢化により継続的に安定した運営ができないリスクも高まってきています。

これらの問題は、従来管理されていなかった作業者情報をデータ化し、定量的かつシステムティックな運用を可能とする Workforce Management (WFM) を利用することで解決できます。






## WFMを活用して得られる効果

リアルタイムな工程別進捗・人員過不足を把握し、人員配置の最適化を行うことで、無駄なコストの削減と遅延の抑制が可能となります。また、コスト・生産性・人員配置に関するデータを継続的に収集して分析することで、問題のある工程を特定し、定期的な改善活動を促進することができます。



## WFMの機能

WFMのシステムは5つの機能から構成されており、作業実績の取得から配置、コスト・生産性、スキルを把握し、配置の適正化を支援します。

	<b>作業実績収集</b>	タブレット端末を用いることで、作業者に負担をかけずに作業実績を収集します。工程別作業者別の作業時間や、車両別で積み込みにかかった作業時間等細かい単位での収集も可能です。
	<b>コスト・生産性管理</b>	日、月、曜日別に作業生産性を管理し、異常値検知に役立っています。工程別コストをリアルタイムに把握することも可能です。
	<b>作業配置管理</b>	管理者は作業者がどこで何の作業をしているかをリアルタイムに把握できます。
	<b>作業スキル管理</b>	管理者は作業者毎のスキルを把握できるため、迅速な配置移動が可能です。また、作業者別の生産性・給与を比較し、給与見直し等の対応に役立っています。
	<b>作業遅延リスク 配置適正化管理</b>	作業量に対する作業者の割り当てをリアルタイムに把握し、遅延リスクの可能性を定量的に判断します。また、工程別に過剰過少配置になっていないかを確認し、配置の適正化を行うことができます。

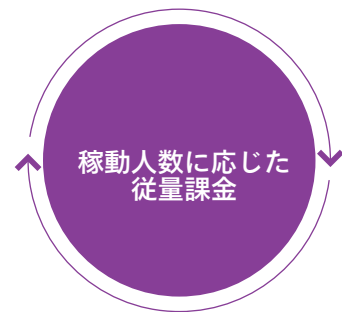
## サービス・システムの特徴



SaaS型クラウドシステムのため、早期にご利用を開始できます。  
※最短2週間～



SaaS型サービスながら、個社要求に応じた独自機能開発を行うこともできます。



月々のサービス料金にライセンス料、サーバー料、保守・運用料等が含まれ、追加料金が発生しません。

## 価格・モデル

お客様の目的に合わせて2つの価格モデルをご用意しています。

**ベーシックモデル**  
作業・コストの見える化と改善を行いたい方へ  
1,000円/月・作業者(税抜)

**アドバンスドモデル**  
個別生産性管理や  
配置の適正化を行いたい方へ

	ベーシックモデル	アドバンスドモデル
作業実績収集	○	○
コスト・生産性管理	○	○
作業配置管理	○	○
作業スキル管理	×	○
作業遅延リスク / 配置適正化管理	×	○